2025年度 年度末総代懇談会のご報告

～ 2025年度をふりかえり 2026年度の取り組みを一緒に考えよう ～

2月17日(火)～3月7日(土)　26会場で開催

2025年度の下期の取り組みと、2026年度方針案について報告しました。昨年秋の総代懇談会で総代のみなさんから出された意見をもとに、身近なくらしの願いの実現にむけて、これからの生協の事業や活動について、意見交流しました。今回の年度末総代懇談会で出された意見を2026年度の方針にいかし、第49回通常総代会の議案を春の総代懇談会で提案します。

2025年度事業・活動報告

〈被爆・戦後80年〉

年間を通じて平和の取り組みを行っています。11月には、『吹田戦跡まちあるき』と組合員の戦争体験をお聴きする講演会を開催しました。

〈国際協同組合年〉

なにわフードバンクにおいて政府備蓄米交付申請を行い、23トンの交付がありました。（よどがわ市民生協へは10kg×21袋）よどがわ市民生協だけでは実現できなかった支援の輪が、法人発足で広がりました。

①みんなが笑顔になる食やくらしを実現する事業をすすめましょう

- 食料・米の安定供給を守るために、食料自給率向上を政府の重要施策として位置づけることを要望する署名に取り組みました。（1月現在、14830筆）

2025年度決算見通し（2025/3/21～2026/3/20）

	見通し	予算比	前年比
供　給　高	152億3,624万円	99.6%	99.9%
事業総剰余金	50億2,376万円	99.4%	99.4%
事業経費合計	45億9,432万円	95.7%	102.4%
経常剰余金	4億9,720万円	165.5%	79.1%

②知りたい、学びたいを大切に、誰もが参加できる活動をすすめましょう

- 吹田市高城町の新施設は、2026年11月竣工予定で進んでいます。機関紙4月号より、新施設建設に向けたこれまでの活動を紹介します（P.5あそびばたけ通信）。

③ありたい社会・地域づくりへの想いを広め、協同をすすめましょう

- 豊能町のヤーコン生産者より、「高齢化もあり収穫が大変」という声があり、役職員だけでなく、これまで茨木市上音羽で農業ボランティアを行っていた『我らよどがわ縁農隊』と共にお手伝いに行きました。

④持続可能で発展し続ける生協をめざして、将来に備えましょう

- 茨木市の畑田新支所建設では、最新の設備を設置することで商品管理を一層強化し、働く人の労働環境改善も進めています。

みんなで子どもの未来を応援しよう

2026年度基本方針4つの柱（案） 2026年3月現在

最終は6月の第49回通常総代会で提案・議決されます。

①みんなが笑顔になる食やくらしを実現する事業をすすめましょう

食（生協の商品、食料自給率、健康など）、助け合いを大切にし、一人ひとりの組合員が生協に関わることや声を伝えることを通じて、笑顔になれる事業をめざしましょう。

②知りたい、学びたいを大切に誰もが参加できる活動をすすめましょう

『知ること』からはじめ、様々な事情があっても、お互いを認め合い『いつでも』『どこでも』『気軽に』参加できる活動や体験が広がることをめざしましょう。

③ありたい社会・地域づくりに向けて、協同をすすめましょう

平和を願う想いや生協の大事にしていることが広がるよう、地域の様々な団体とも一緒に考え連携しましょう。環境や食品ロス、農業への理解を深めましょう。

④発展し続ける生協をめざして、将来に備えましょう

くらしを支える生協として、社会の変化への対応や災害など不測の事態でも、組合員の期待に応えられるように事業・経営を発展させ、働く人を育む生協をめざしましょう。

〈総代懇談会当日のようす〉

あそびばたけ通信

みんなでつくる、新しい施設

よどがわ市民生協では、吹田市高城町に新しい施設を建設します。新施設のコンセプトは、『あそびばたけ』に決定。組合員や地域のみなさんが気軽に集える場を目指しています。当初は2026年春の完成を予定していましたが、計画を見直し、現在は同年冬の完成に向けて準備を進めています。

あそびばたけ通信では、これまでの歩みとこれからの動きを共有し、新施設ができるまでを皆さんと一緒に見届けます。また、建設中の工程に参加できる体験会など、組合員や地域のみなさんが参加できる企画の紹介も予定しています。施設が形づくられていくようすを、次号以降で順次発信します。どうぞお楽しみにお待ちください♪

新施設について、「これまで」と「これから」をいろいろ発信していくで！

『あそびばたけ』は建築予定の新施設のコンセプトです

あそびとはなんでしょう。
ヒトはあそびを通じて、楽しい時間を
過ごすとともに、さまざまな知識や経験を
得ることができます。
また、『ハンドルのあそび』という表現に
あるように、余白・ゆとりという意味を
持ちます。
よどがわ市民生協の新しい施設は、
そんなさまざまなあそびのある『はたけ』
のような場所でありたいと思います。
この場所に集まる組合員・地域の人たちで、
種をまいたり、耕したり、育てたりしながら
新しいあしたを作っていきましょう。
あなたは、『あそびばたけ』で
どんなあしたを作りますか？

地域とともに

これからもずっと応援！

よどまる応援基金報告⑩

「よどまる応援基金」収支報告（単位：円）（期間：2025/12/21～2026/1/20）

収入の部	
項　目	実　績(円)
前月度残高	529,887
募金	48,800
収入計	578,687

支出の部	
項　目	実　績(円)
収入計	578,687
食材購入代	0
残高	578,687

※残高の578,687円は、次回以降の食材購入代金に活用させていただきます。

前回お菓子を購入し、提供した団体さんからうれしいお声をいただきました！

よどがわ市民生協は、こども食堂やシングルマザー支援団体などを支援する目的で食材を提供しています。『よどまる応援基金』で皆さまから寄せられた募金は、各団体へ提供する食材の購入などに使わせていただいています。今回は、昨年12月に購入したお菓子を提供した団体より、うれしいお声をいただきましたので紹介します！

コープ商品のサブレとチョコレート、源氏パイの3種類をおよそ29万円分購入しました。

普段の子ども食堂では、子どもたちに「お菓子は1個ずつ取ってね」と声をかけているのですが、今回たくさんのお菓子をいただき、バレンタインの時期も兼ねてひとり1袋ずつチョコレートを渡すことができました。

家ではお菓子を満足に食べられない子もいるので、いつもの食材と一緒に寄付をいただけることに大変感謝しています。

『ハッピー食堂あいのわ（吹田市）』さん

紙面に載せきれないくわしいお話はこちら

この日の献立はハヤシライスとサラダ、高野豆腐の煮物、コープ商品のゼリー。よどがわ市民生協が提供したお米やケチャップ、ドレッシングや大豆などたくさんの食材が使われています！

よどがわ市民生協では、今後も地域団体の活動を支えていきたいと考えています。

子ども食堂などを支援できる『よどまる応援基金』についてくわしくはこちらから♪

毎週受付中～♪

●よどまる応援基金のご案内●

子ども食堂などへ安定的に食材を提供するため募金にご協力ください。

※この募金は所得税の寄付金控除の対象となりません。

募金方法　注文書の4ケタ・6ケタ注文欄「001419」に個数（1＝100円）を記入。インターネット注文『eフレンズ』でも募金できます。